

若者の市政参加に関するアンケート 報告書



平成30年11月

目次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果（概要）	2
第3章 調査結果（詳細）	

第1章 調査の概要

1 調査の目的

若者（13歳～30歳）の市政参加の現状を把握し、市政参加を促す方法を検討するに当たっての基礎資料とするために、本調査を実施した。

2 調査要領

(1) アンケートの配布・周知方法

以下の方法により配布周知を行った。

対象者		周知・実施方法
京都女子大学	大学生	授業で実施，回収
京都精華大学	大学生	授業で実施，回収
同志社大学	大学生	授業で実施，回収
立命館大学	大学生	授業で実施，回収
北青少年活動センター	利用者	施設で配布，回収
中京青少年活動センター	利用者	施設で配布，回収
東山青少年活動センター	利用者	施設で配布，回収
山科青少年活動センター	利用者	施設で配布，回収
下京青少年活動センター	利用者	施設で配布，回収
南青少年活動センター	利用者	施設で配布，回収
伏見青少年活動センター	利用者	施設で配布，回収
市民活動総合センター	利用者	施設で配布，回収／メルマガで配信
京都青年会議所	会員	メールで周知（HPから回答）
京都中小企業家同友会	会員	メールで周知（HPから回答）

(2) 調査期間

平成30年10月1日（月）～11月4日（金）

3 回収結果

回答数 307件

第2章 調査結果（概要）

1 回答者の属性

1 性別	男女がほぼ同数
2 年齢	16～20歳が約半数 21～25歳が約3割
3 職業	高校生：16% 大学生／大学院生：64% 学生以外：14%
4 住まい	京都市在住：70%
5 アンケート入手先	青少年活動センター：55% 大学の授業：40% 企業団体からの依頼：3% 市民活動センター：2%

2 市政への関心度

6 京都市が行うことへの関心	関心がある（「とても感心がある」と「少し関心がある」の合計） 57% 関心がない（「関心がない」と「あまり関心がない」の合計） 25%
----------------	--

3 市政参加制度の認知度・参加の割合

(%)

	知らない	知っているが 参加したことが ない	1回 参加したことが ある	複数回 参加したことが ある
7 市長への手紙	82	17	1	1
8 パブリック・コメント	69	30	1	0.3
9 アンケート調査	80	17	2	1
10 アイデア・名称等の募集	69	28	3	0.3
11 青少年モニター制度	85	14		1
12 ワークショップ	75	22	2	1
13 市政ボランティア	63	36	1	0
14 市民公募委員	88	12	0	0

<比較的認知度が高いもの>

パブリック・コメント，アイデア・名称等の募集，市政ボランティア

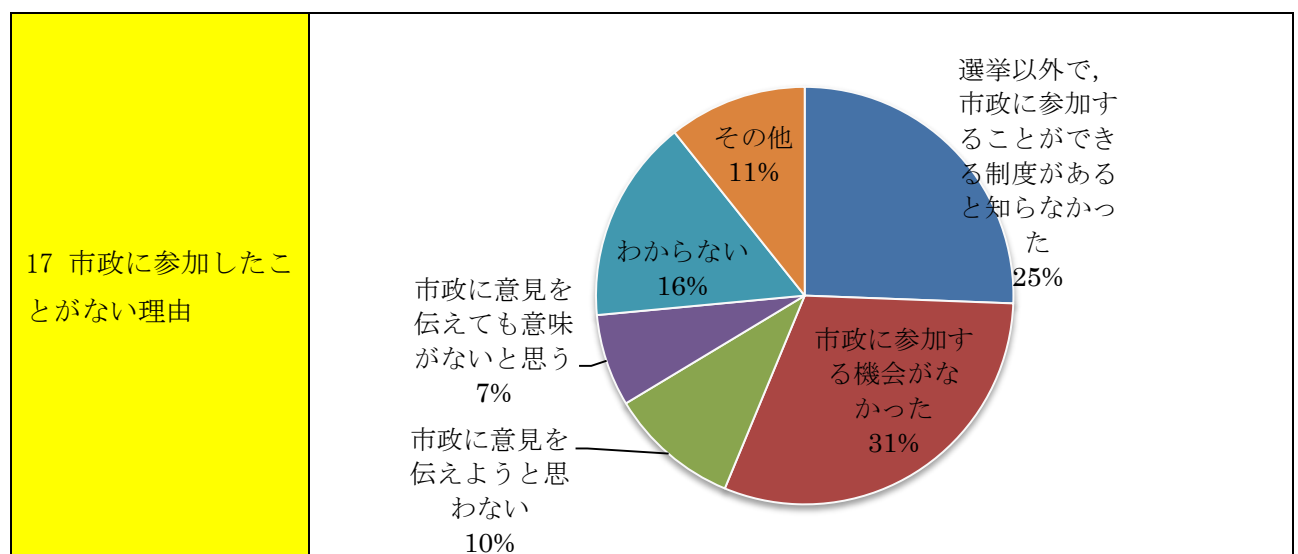
<比較的認知度が低いもの>

青少年モニター制度，市民公募委員

	知らない	知っているが参加したことがない	1回参加したことがある	複数回参加したことがある
15 他都市の類似制度 (京都市外在住者のみ)	80	19	0	1

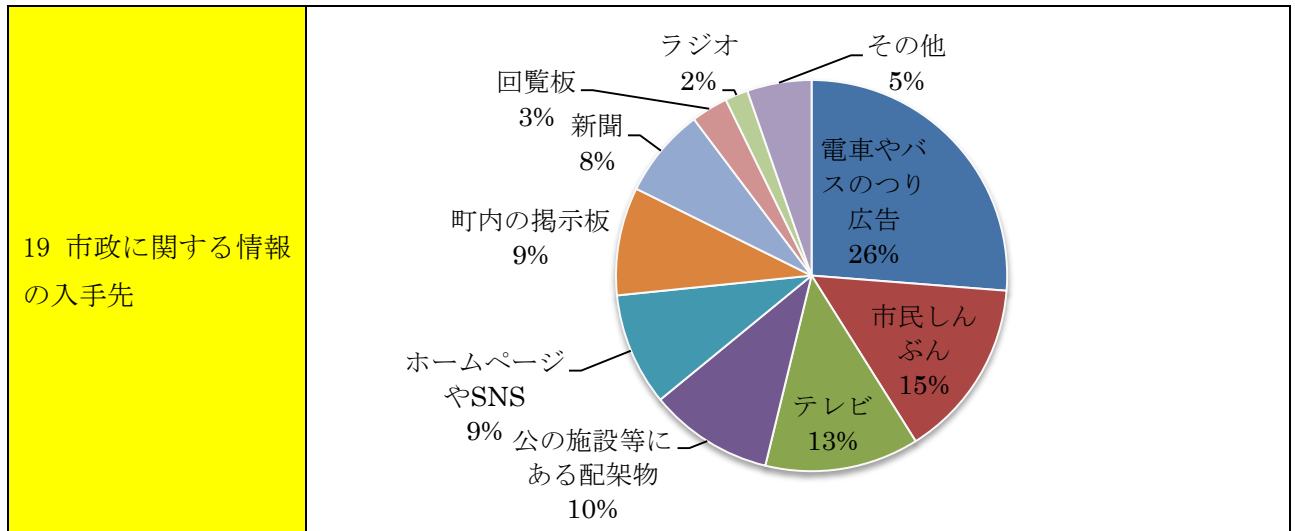
16 市政に参加した理由	興味のある内容だったから	8件
	市政に関わりたい・役に立ちたいと思った	5件
	人から勧められたから	5件
	大学の授業で参加した	4件

この他、4件の意見



18 この他の市政参加の経験	市主催のイベントの参加・ボランティア
	祇園ゴミゼロ大作戦
	北野天満宮で行われた梅酒祭りのボランティアスタッフを行った
	京都学生祭典
	梅津学区のまちづくり委員会とその中の1町内と協力してアンケートを行いました
	大学の授業で上京区のインターンシップに参加させていただきました
	空き家に関する打合せ
	担当者と協議

4 情報の入手先

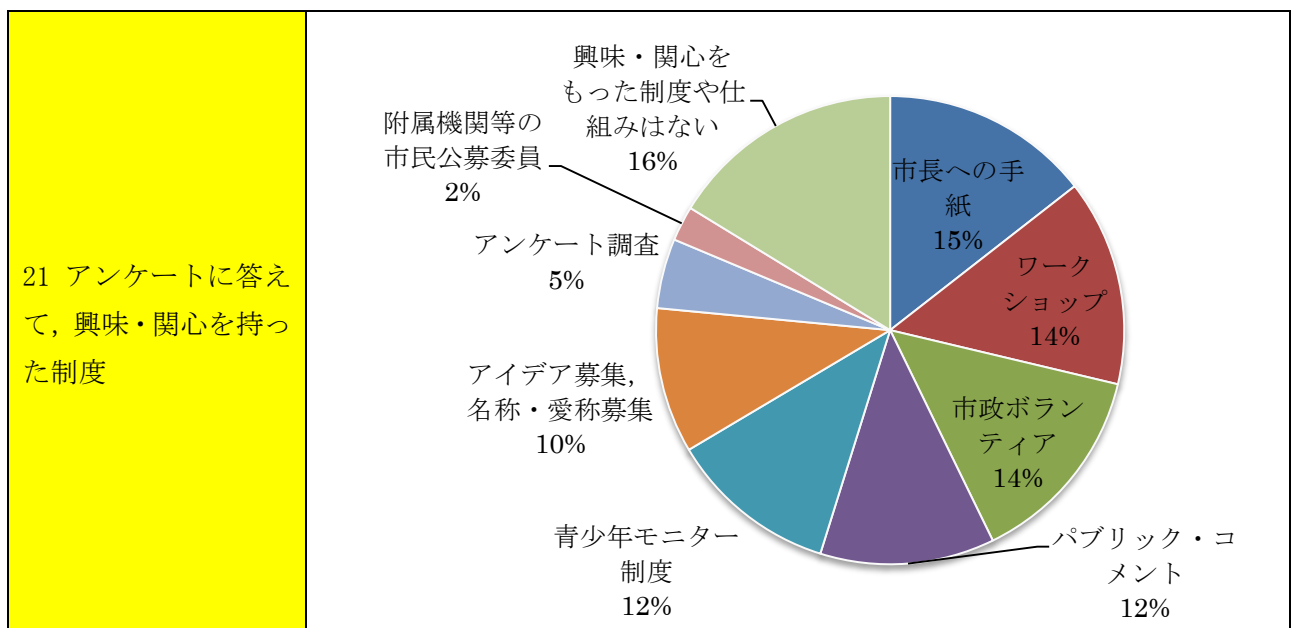


5 若者の市政参加を進めるアイデア

20 若者の市政参加を進めるアイデア	大学でPRする。授業でPRする。大学と一緒にイベント等を行う。	33件
	SNSで積極的に発信する	20件
	若者が興味がありそうなものと関連づける	9件
	制度の認知度を上げる	8件
	スマホ・SNSで参加できるようにする	4件
	Youtube, Twitterに広告を出す。	4件
	何か支給する。特典をつける。	3件
	若者議会をつくる。高校生議員をつくる。	2件
	市政参加の実感を高める	2件

この他、17件の意見

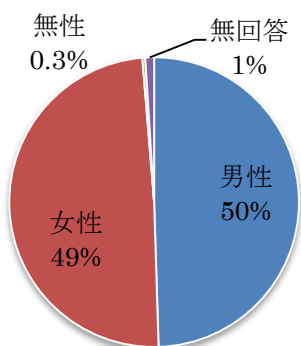
6 アンケート記入後に興味を持った制度



第3章 調査結果（詳細）

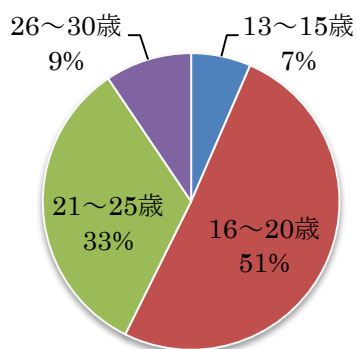
1 回答者の属性

【設問1】性別（1つ選択）



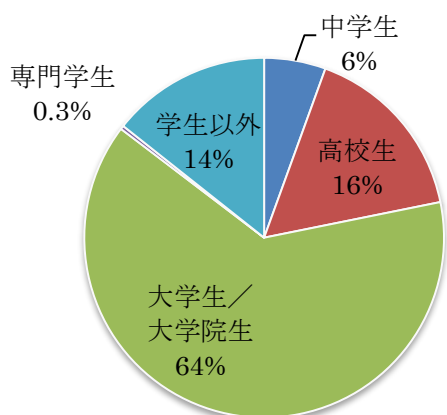
回答	回答数	割合
男性	152	50%
女性	151	49%
無性	1	0.3%
(無回答)	3	1%

【設問2】年齢（1つ選択）



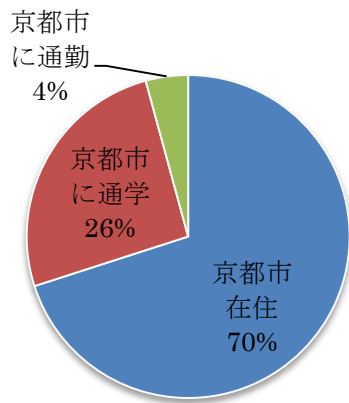
回答	回答数	割合
13~15歳	20	7%
16~20歳	156	51%
21~25歳	102	33%
26~30歳	29	9%

【設問3】職業等（1つ選択）



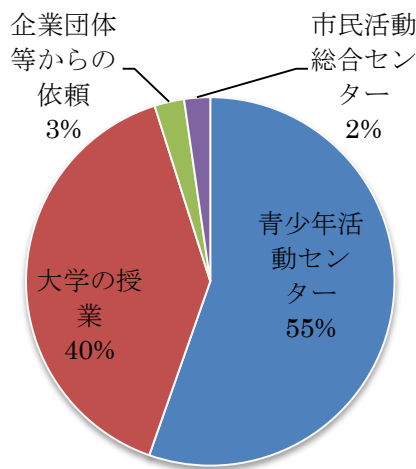
	回答	回答数	割合
	中学生	17	6%
	高校生	50	16%
	大学生/大学院生	195	64%
	専門学生	1	0.3%
学生以外	会社員/役員	19	6%
	パート/アルバイト	13	4%
	公務員	5	2%
	自営業/自由業	2	1%
	NPO職員/役員	2	1%
	無職	2	1%
	その他	1	0.3%

【設問4】お住まい（1つ選択）



回答	回答数	割合
京都市在住	215	70%
京都市に通学	79	26%
京都市に通勤	13	4%

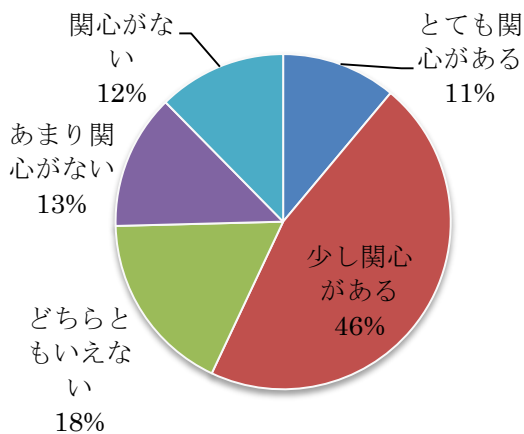
【設問5】アンケート入手先（1つ選択）



回答	回答数	割合
青少年活動センター	170	55%
大学の授業	122	40%
企業団体等からの依頼	8	3%
市民活動総合センター	7	2%

2 市政への関心度

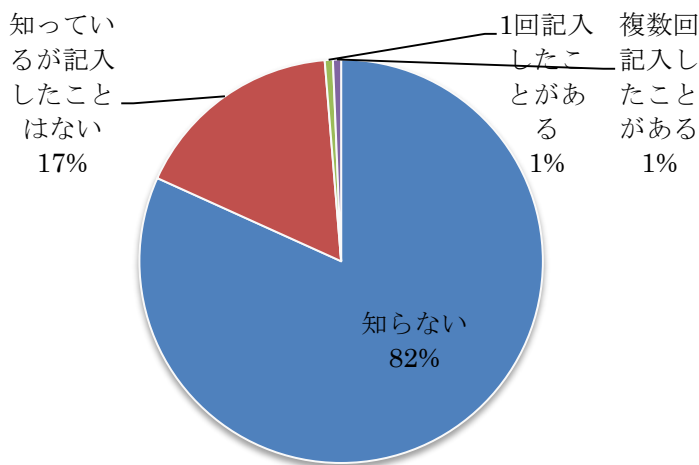
【設問6】京都市（行政）が行うことへの関心（1つ選択）



回答	回答数	割合
とても関心がある	34	11%
少し関心がある	141	46%
どちらともいえない	54	18%
あまり関心がない	40	13%
関心がない	38	12%

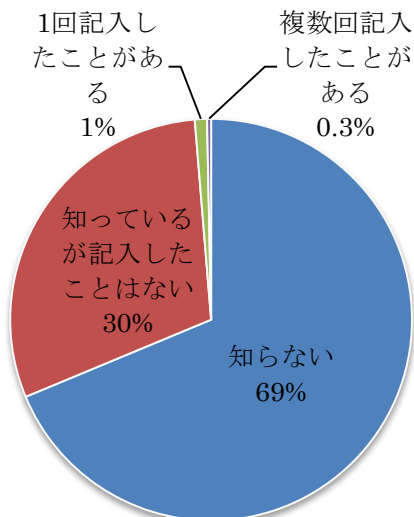
3 市政参加制度の認知度・参加の割合

【設問7】「市長への手紙」(1つ選択)



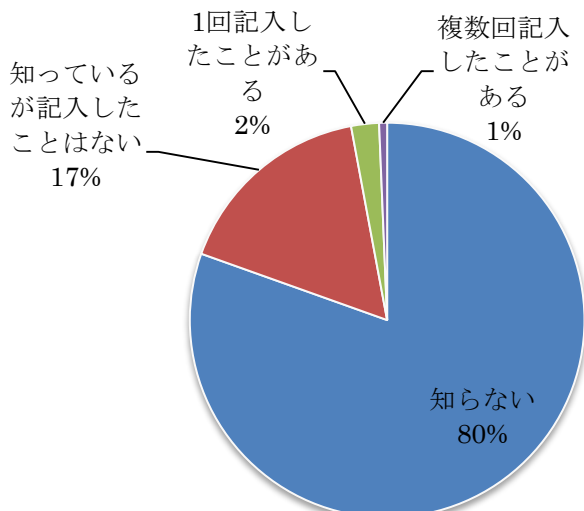
回答	回答数	割合
知らない	251	82%
知っているが記入したことはない	52	17%
1回記入したことがある	2	1%
複数回記入したことがある	2	1%

【設問8】「パブリック・コメント」(1つ選択)



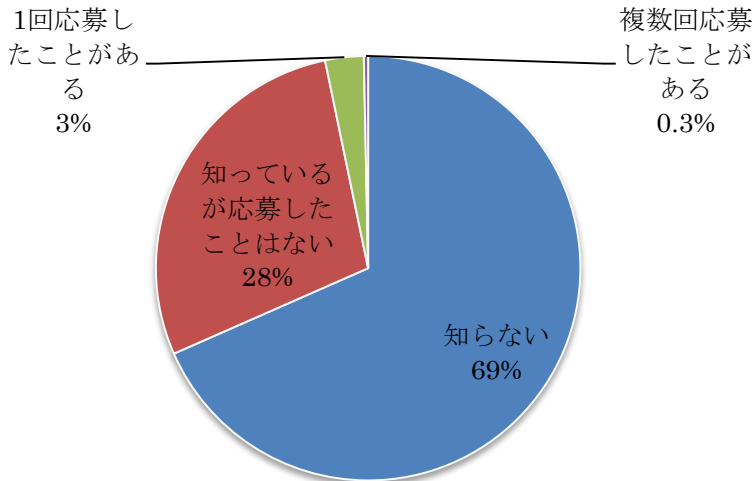
回答	回答数	割合
知らない	211	69%
知っているが記入したことはない	92	30%
1回記入したことがある	3	1%
複数回記入したことがある	1	0.3%

【設問9】京都市が実施する「アンケート調査」(1つ選択)



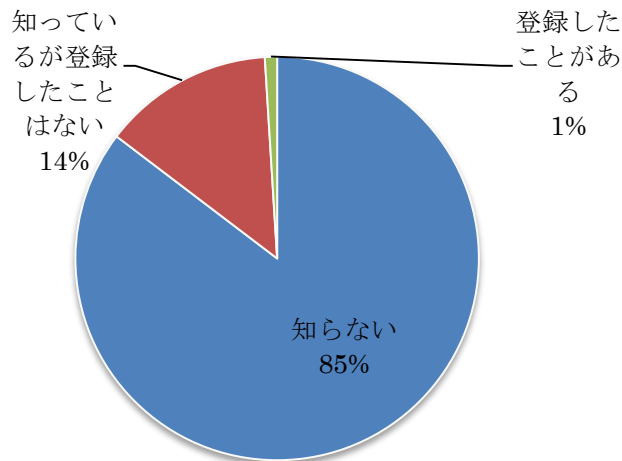
回答	回答数	割合
知らない	247	80%
知っているが記入したことはない	51	17%
1回記入したことがある	7	2%
複数回記入したことがある	2	1%

【設問 10】京都市が実施する「アイデア募集, 名称・愛称募集」(1つ選択)



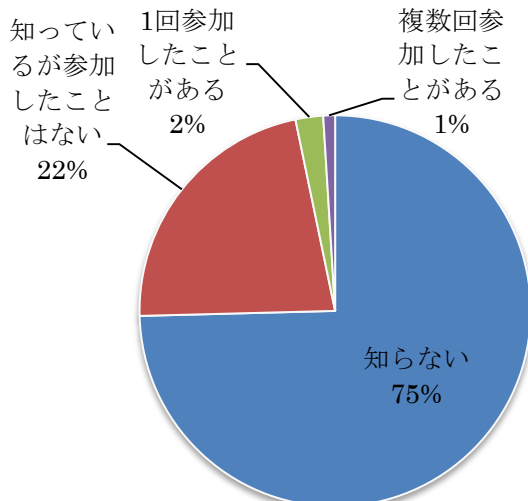
回答	回答数	割合
知らない	210	69%
知っているが記入したことはない	87	28%
1回記入したことがある	9	3%
複数回記入したことがある	1	0.3%

【設問 11】「青少年モニター制度」(1つ選択)



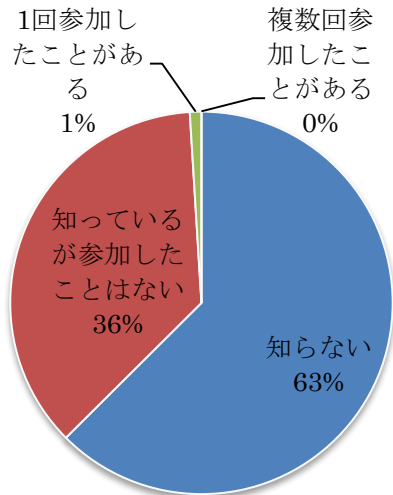
回答	回答数	割合
知らない	262	85%
知っているが登録したことはない	42	14%
登録したことがある	3	1%

【設問 12】京都市が実施する「ワークショップ」(1つ選択)



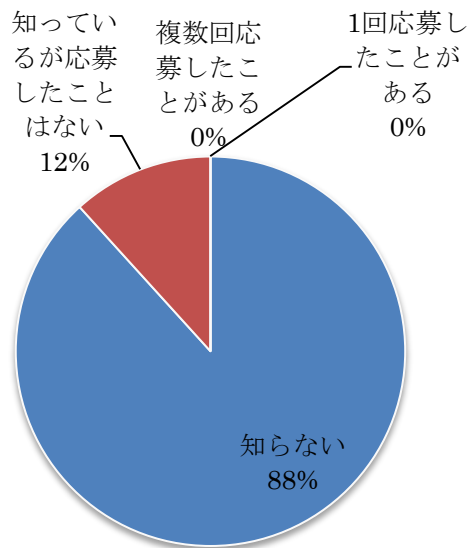
回答	回答数	割合
知らない	229	75%
知っているが参加したことはない	68	22%
1回参加したことがある	7	2%
複数回参加したことがある	3	1%

【設問 13】「市政ボランティア」（1つ選択）



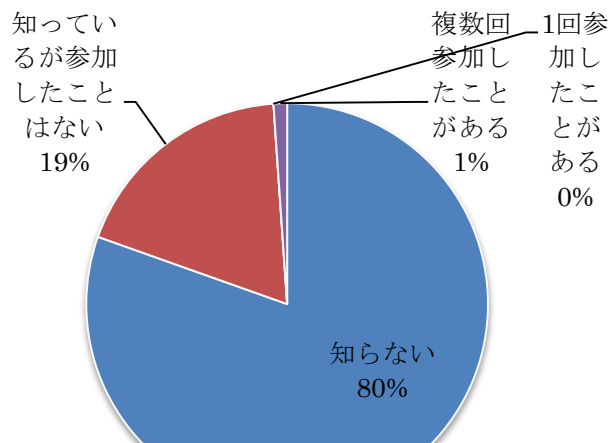
回答	回答数	割合
知らない	192	63%
知っているが参加したことはない	112	36%
1回参加したことがある	3	1%
複数回参加したことがある	0	0%

【設問 14】「附属機関等での市民公募委員」（1つ選択）



回答	回答数	割合
知らない	271	88%
知っているが応募したことはない	36	12%
1回応募したことがある	0	0%
複数回応募したことがある	0	0%

【設問 15】「他都市における類似制度」（1つ選択）



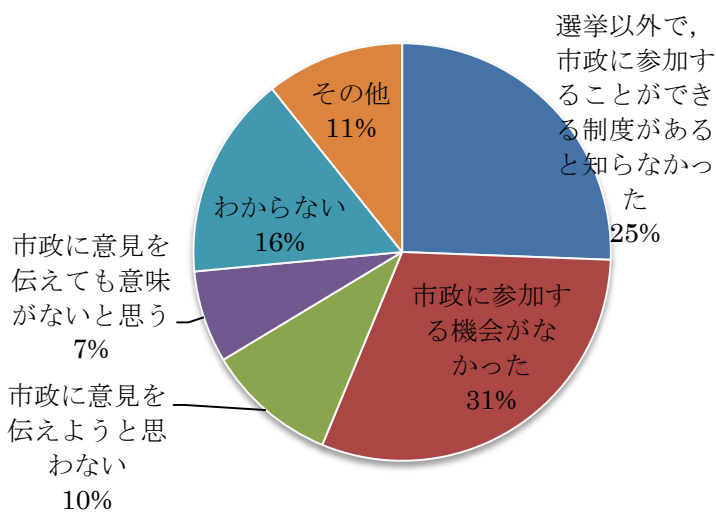
京都市外在住者のみの集計 (n=92)

回答	回答数	割合
知らない	74	80%
知っているが参加したことはない	17	19%
1回参加したことがある	0	0%
複数回参加したことがある	1	1%

【設問 16】 市政に参加したことがある場合、その理由

回答内容	件数
興味のある内容だったからなどの意見 ・デートDV ・子ども支援 ・環境 ・ゴミが減っていい活動だと思ったから ・「名前をつける」という事がもともと好きで、それが公式のものと知り参加したくなったから（愛称・名称の募集） ・自分の好みのデザインがあったから（デザインの投票） ・反対している内容の政策について、反対のパブコメを送った。	8
市政に関わりたい・役に立ちたいと思ったからなどの意見 ・青少年モニターのチラシを拝見し、市政に携わりたいと思ったから ・青少年の視点の意見として役に立てるならいいかなと思ったから ・京都市をより良い街にするために、自分なりに考えたことがあったため ・少林寺の視点から何かお手伝いをしようと思ったから ・他の自治体のことなどについても考えたことがあったため	5
人からの推薦 ・青少年活動センター職員から言われたため（3件） ・他の委員の方に推進されたため ・ゼミの先生が関わっているものだったから	5
大学の授業で	4
部活の行事だったから	1
参加しやすく、責任も低めのものだったから。	1
子どもと触れ合うのが好きだから。	1
面白そうだから。仲間と考えるのが楽しいから。	1

【設問 17】 市政に参加したことがない理由（複数選択可）



回答	回答数	割合
選挙以外で、市政に参加することができる制度があると知らなかった	86	25%
市政に参加する機会がなかった	103	31%
市政に意見を伝えようと思わない	34	10%
市政に意見を伝えても意味がないと思う	24	7%
わからない	53	16%
その他	36	11%

設問 7～15 で、いずれも参加したことがない人のみ回答

< 選択肢「その他」の内容（自由記入） >

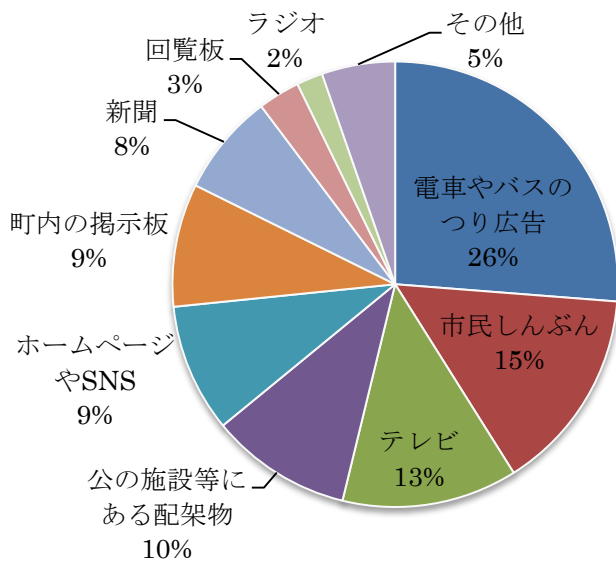
回答内容	件数
「京都市に住んでいないから」という意見	8
「知らなかったから」という意見 <ul style="list-style-type: none"> どこで参加の情報を得られるのかわからない。 各制度があること自体伝わってこないため。 京都へは大学にしかいかないので、市政に関わることがないから知らなかった。 何か取り組みが行われているのは知っていたが、具体的な名前などは知らなかった。 京都市に住民票を移している訳ではないので、全く情報が入ってこない。 参加するようなものがあるのを初めて知ったし、少しめんどくさい。 京都市についてあまり知らなかった 	8
「大学卒業後地元に戻るから」「京都市出身でないから」という意見	4
「京都市に住みだしたばかり、通勤・通学しだしたばかりだから」という意見	4
「興味がない、関心がない」という意見	3
「忙しいから」などの意見 <ul style="list-style-type: none"> 興味はあるが、忙しく情報を集める時間がない 参加できる日がなかったため 市政の事はよくわからない。自分のことで精一杯だから。 	3
市民じゃないのでなにもできないと思っていた	1
自治体のアンケートなどは手間がかかるイメージがあり、避けていた	1
気軽に応募できない。参加できる時間が少なそう	1
京都に関わることがない。	1

【設問 18】 この他、京都市に意見を伝えた、協力した、協働したこと（自由記入）

市主催のイベントの参加・ボランティア
祇園ゴミゼロ大作戦
北野天満宮で行われた梅酒祭りのボランティアスタッフを行った
京都学生祭典
梅津学区のまちづくり委員会とその中の1町内と協力してアンケートを行いました
大学の授業で上京区のインターンシップに参加させていただきました
空き家に関する打合せ
担当者と協議

4 市政情報の入手先

【設問 19】京都市政に関する情報の入手先（複数選択可）



回答	回答数	割合
電車やバスのつり広告	138	26%
市民しんぶん	78	15%
テレビ	67	13%
公の施設等にある配架物	54	10%
ホームページやSNS	49	9%
町内の掲示板	47	9%
新聞	39	8%
回覧板	16	3%
ラジオ	10	2%
その他	28	5%

< 選択肢「その他」の内容（自由記入） >

回答内容	件数
授業	7
「京都市政の情報を知る機会がない」という意見	4
親	1
知人	1
インターネット	1
月刊のチラシが郵便受に入ってる	1

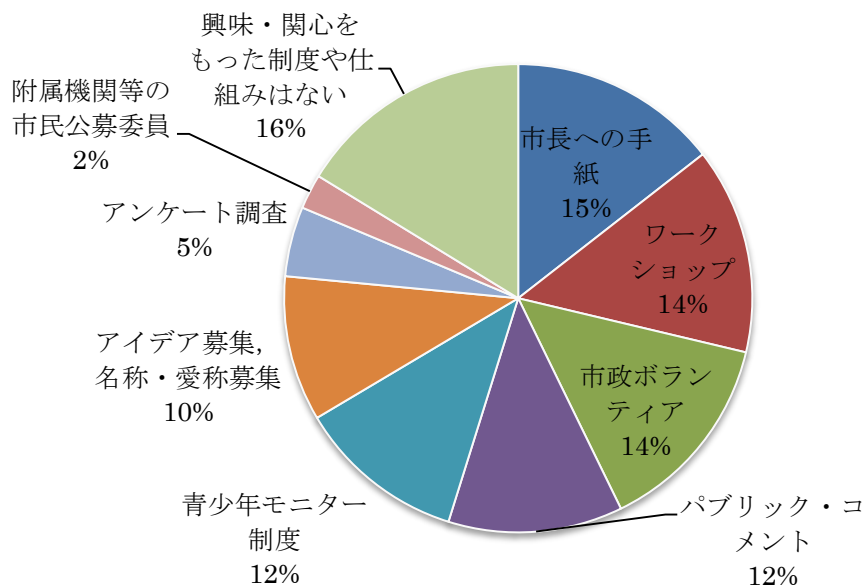
5 若者の市政参加を進めるアイデア

【設問 20】若者の市政参加を進めるためのアイデア（自由記入）

回答内容	件数
「大学でPRする（サークル，食堂など）」「学校の授業でPRする」「大学と一緒にイベント等を行う」という意見	33
「SNSで積極的に発信する」という意見	20
「若者が興味がありそうなものと関連づける」という意見 ・音楽 ・サブカルチャー ・アニメ ・フェス	9
「制度の認知度を上げる」「知る機会を増やす」という意見	8
「スマホ・SNSで参加できるようにする」という意見	4
Youtube, Twitterに広告を出す。	4
「何か支給する」「特典をつける」という意見 ・バイト代 ・交通費 ・図書カード	3
「若者議会をつくる」「高校生議員をつくる」という意見	2
「自分の意見が十ているか確認できるようにする（実感を高める）」という意見	2
SNSはフォローしていないと意味がないので，電車などのつり広告などで知らせる。	1
ネットやテレビを活用する。	1
若者が多く集まる場所に設置する（アンケート回収場所など，有人で）。	1
北区の「つながるワークショップ」などで，紹介・意見交換の場を設ける。	1
若者限定のイベントを開く。	1
企業やイベントとのコラボ（参加したら何かもらえとか。最初はもので釣るのもあり）	1
アプリや店，イベントと連携する。	1
京都に在籍している企業にメール	1
若者側から，市役所のホームページに入って情報収集するのは少ないと思うので，自治体側が呼びかける。	1
ボランティアをしている人は，問題意識をもっている人も多いし，接点をもつと良いと思う。	1
市長と学生が対話できる機会があれば良いと思います。	1
インターンシップに取り入れる。	1
区民まつりなどにダンスサークルを呼んで参加してもらう。	1
若者と共に考える。	1
豊富な補助金制度があれば，意欲的に取り組めると思う	1
おやつを用意する。	1
京都市に住民票がないが，住んでいる大学生がどれくらい市政に関わることができるのか分からないので知りたいです。	1

6 アンケート記入後に興味を持った制度

【設問 21】 アンケートに答えて、興味・関心をもった制度（複数選択可）



回答	回答数	割合
市長への手紙	72	15%
ワークショップ	71	14%
市政ボランティア	70	14%
パブリック・コメント	60	12%
青少年モニター制度	58	12%
アイデア募集, 名称・愛称募集	50	10%
アンケート調査	24	5%
附属機関等の市民公募委員	12	2%
興味・関心をもった制度や仕組みはない	81	16%